

星野楽器株式会社 様

「デザインのアイデアが3次元CADでふくらむ」

星野楽器株式会社は日本の洋楽器の創世記に創業、以来、音楽の西洋化とともに歩み、世界の市場ニーズに応えることで常に革新的な前進を続けています。本日は来年2008年に創業100周年を迎える星野楽器株式会社のマーチャンダイジング部アンブレ&D電子プロダクト 高島様にお話を伺いました。

まずお仕事の内容について教えてください。

星野楽器が主に扱っている製品としてはエレキギター、ドラム、アコースティックギター、アンプ、アクセサリといったものになります。

私自身はアンプの回路設計を主に行っています。設計以外にもその他に商品企画、営業支援、なども手がけています。

Alibre Design導入の経緯について、詳しく教えてくださいませんか？

機械デザインなどは2次元のスケッチを基にメーカーと打ち合わせしながら進めていくのですが、細部までチェックがいきとどかないのでクオリティについて満足できない部分がありました。そのため、3次元CADを検討はしていましたが、かなり価格が高く、また、私自身がアメリカへ出向することも重なり見送っていました。

日本へ戻ることになり業務を進めるうえでは3次元のCADは欠かせないだろうということになったんですね。しかし、部署内の設計者4人全員にミドルレンジCADを導入するのは価格の面で難しかったんです。その点Alibre Designですとミドルレンジ1本分で全員に導入出来てしまいます。

AlibreDesignの利用状況について教えてください

(設計したアンプの)こういった概観とそこにPCボードと回路の組み立てを加えたものを考慮して設計できるので重宝してますね。このアンプですと、一部は違う部署の作った部分はあるんですが、角、メッシュ、ランプ、足、などは総数200~300のパーツを設計してアセンブリを作成してますよ。ランプカバーのような小さな部品も既製品を使えれば時間が短縮出来るんですが、なかなかうまくはまってくる自分の求めているものが無いので自分で作ってしまいました。

AlibreDesignのどのような点に満足されていますか？

STEPデータの互換性、また、Professional判の拡張機能のレンダラー (Alibre PhotoRender) と板金モジュールが重宝してますよ。それに、安価で提供することで3次元CADインフラの向上に努められていることも評価できます。2次元を使用しているときはまた違ったデザインのアイデアがふくらんでいきますからね。

AlibreDesignを使いこなされていますが、どのような用途が他に考えられますか

AlibreDesignXpress (無償版) はビューワとしても利用できるんじゃないでしょうか。他には、私も家具などをDIYで作っているんですが、ちょっと習ってすぐ使えるようになるので図面を引く手間が省けますし、修正なども楽に出来るそうですね。そういった分野でも需要があるんじゃないでしょうか。

AlibreDesignについて今後期待する点についてお聞かせください

2次元の図面への書き出しのスピードですね。スピーカ部分のメッシュなども穴を一つ一つデータを持つのではなくパターン化してデータを軽くできるようになるといいですね。納期が近くなると画面の前で「早く!」と思ってしまうので(笑)テクニカルチップやフォーラムの充実をして欲しいですね。これは裏返せば強みにもなるんですけど、部署内全員に導入できていて、擬似的なフォーラムが形成されて、意見を出し合って問題を解決しているんですよ。

本日はお忙しいところありがとうございました。

Profile

星野楽器株式会社は、明治41年創業以来、弦楽器・打楽器・電子楽器の企画設計・開発、輸出入業務、海外市場開拓、海外代理店への卸売販売を行っています



OverView

HOSHINO GAKKI GROUP
星野楽器株式会社

本社：名古屋市東区榑木町3-22
URL：<http://www.hoshinogakki.co.jp/>
TEL：052-931-0381
FAX：052-932-2684
代表者：田中 俊次
社員数：98人
事業内容：
弦楽器・打楽器・電子楽器の企画設計・
開発業務及び輸出入業務、海外市場開拓、
海外卸売

